

世界が注目する 13歳のヴァイオリニスト

熊本初公演

# HIMARI × 吉田恭子

## DUOコンサート



piano 河野絃子



2025

# 6.14 (土)

18:15 開場 19:00 開演

熊本県立劇場コンサートホール

*Program*

- ・ショスタコーヴィチ / 2台のヴァイオリンと5つの小品
- ・ドビュッシー / 月の光
- ・サラサーテ / ナヴァラ ほか

曲目・曲順は変更になる場合がございます。

チケット料金

全席指定 ¥5,000 (税込)

チケット販売開始

RKK WEB先行 2025年3月3日(月) 10時～

一般販売 2025年4月1日(火) 11時～

おひとり4枚までの購入とさせていただきます。未就学児の入場はお断りいたします。 転売禁止

プレイガイド

・RKK WEB [rkk.jp](http://rkk.jp)

・熊本県立劇場プレイガイド 他



主催: RKK熊本放送

photo / ©Hitoshi Iwakiri

# HIMARI × 吉田恭子 DUOコンサート



©Hitoshi Iwakiri



©Hitoshi Iwakiri

HIMARI  
Official  
Homepage



HIMARI  
Official  
Instagram



HIMARI  
Official  
YouTube



## HIMARI 《 Violinist 》

3歳よりヴァイオリンを始め、6歳でプロのオーケストラと共演。原田幸一郎、小栗まち絵の両氏に師事。2022年、最年少でフィラデルフィアの名門カーティス音楽院に入学し、現在、教育者として広く尊敬されているアイダ・カヴァリアンに師事している。2025年3月に、巨匠ズービン・メータ率いるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、定期公演にソリストとして共演。2024年12月31日にはフィラデルフィア管弦楽団が開催する「New Year's Eve Celebration」で、卓越した才能を持つ指揮者マリン・アルソップと共演。また、来夏はジョナサン・ノット率いるスイスロマンド管弦楽団の日本ツアーのソリストをはじめ、国内外で数々の公演を予定している。

- 第15回リピンスキ・ヴィエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール 2021 特賞グランプリ(第1位を上回る)を受賞
- 第12回アルトゥール・グリュミオー国際ヴァイオリン・コンクール(ベルギー)第1位および特賞グランプリ
- 第26回アンドレア・ポスタッキー国際ヴァイオリン・コンクール(イタリア)第1位および特賞グランプリ
- 第20回シュルケンチク国際音楽コンクール(ロシア)第1位
- 2019年にはザルツブルク・モーツァルテウム大学主催の国際サマーアカデミーに参加。
- 同アカデミーが2019年のザルツブルク音楽祭期間中に開催したコンサートでは、最年少参加者として受賞。

これまでの、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィル、キエフ・ナショナル・フィル、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など多数のオーケストラと共演。また、アメリカ、ドイツ、ロシア、スイス、オーストリア、イタリア、ベルギー、ウクライナ、カナダ、日本でコンサートに出演。使用楽器は1717年製ストラディヴァリウス「Hamma」を前澤友作氏より、弓は「宗次コレクション」より貸与されている。江副記念リクルート財団第52回奨学生。2024年より、ドイツの音楽事務所「KD SCHMID」所属のアーティスト。



©Hitoshi Iwakiri

## 吉田 恭子 / Kyoko Yoshida 《 Violinist 》

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部を卒業後、文化庁芸術家海外派遣研修生として、英国ギルドホール音楽院、米国のマンハッタン音楽院へ留学。巨匠アーロン・ロザンドに師事。世界各国の音楽祭に参加。ニューヨークを拠点に多岐にわたる演奏活動を行い、数々の賞を受賞。「研ぎ澄まされた感性や情感を楽器を通して偽りなく表現できるヴァイオリニスト」と絶賛される。

2001年、コロムビアミュージックエンタテインメントより2枚同時発売によるCDデビュー。全9作のアルバムをリリースしており、「このゆかしい余情を湛えて響く音色は、それ自体が貴重なものだ」と音楽専門誌にて高く評価された。これまでにアーロン・ロザンド、江藤俊哉、滝沢達也各氏に師事。全国各地でリサイタルを行う他、さまざまなオーケストラとも共演。ウーレン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者が中心となる「マスター・プレイヤーズ、ウィーン」等とも共演し、指揮者、共演者からも厚い信頼を寄せられている。雑誌や新聞、テレビやラジオ等メディアの出演も多く、番組パーソナリティやコメンテーターとして出演。NHK「地球ウォーカー」ではテーマ曲を担当。G8北海道洞爺湖サミットでは環境庁エコビニオンとして登場、様々な活動で広く親しまれている。

その他、映像とのコラボレーションによる「いわさきちひろと吉田恭子の世界」、日本ユニセフ協会「オードリー・ヘップバーン子供基金コンサート」、環境雑誌「ソトコト」等の活動を通じ、子ども達と自然・エコロジー・音楽・チャリティーに対する積極的な取り組みを行い反響を呼んだ。また地域社会の活性化と福祉の精神を目的に、全国の小中学生等をクラシックの世界へ案内する巡回教育プログラム「ふれあいコンサート」シリーズを2003年よりスタートさせ、これまでに約550公演、15万名以上が参加している。積極的な活動に対する功績が認められ、平成20年度「関西・経営と心の会」奨励賞を受賞。2011年より開催のYEKアカデミー「若い芽のアンサンブル in 軽井沢」実行委員長。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



## 河野 紘子 / Hiroko Kono 《 Pianist 》

< オフィシャルウェブサイト > <http://www.hirokokohno.com>

札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。高校卒業演奏会、大学ピアノ卒業演奏会に出演。これまでに桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、二期会研修所ピアニストとして勤務。アンサンブルに定評があり、「霧島国際音楽祭」「東京・春・音楽祭」などの音楽祭に出演、テレビ朝日「題名のない音楽会」などメディアでの出演もしている。

2020年には水戸芸術館主催「池辺晋一郎の肖像」などのコンサートに出演。その時の演奏(表題作とピアノソロ曲「大地は蒼い一個のオレンジのような…」)は、池辺晋一郎 室内楽作品集III「さんごじゅの花」に収録されている。

その他、ソプラノ歌手小林沙羅氏のアルバムや数々の合唱団との収録など、CD録音にも多数参加している。2019年には小林沙羅、波多野睦美、坂下忠弘氏をゲストに迎え、歌曲とピアノソロを交えたセルフ・プロデュースコンサート「詩が音をまとう時」を企画。2020年にはジャンルを超えたクリエイターたちと共に「Scarborough Fair」を題材とした映像作品を製作するなど、企画力も高く評価されている。またドラマ、映画と大ヒットを記録した「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当。また「コード・ブルー 3rd SEASON」でも天野奏役(田鍋梨々花)のピアノ指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。